

和して流れず

心を一つに、切磋琢磨を

校長 廣本 勝裕

このような素晴らしい生徒たちをお預かりした上は、教職員一同、心を一つに力を合わせて、一人一人の優れた資質を最大限伸ばすべく誠心誠意努力する所存であります。

さて、始業式では、校長式辞の中で生徒たちに、教育目標等を踏まえ、特に、次のような力を身に付け、伸ばすことの大切さを伝えました。

一つは、自己の将来展望を明らかにし、それを実現する方策を見出して、粘り強く実現に向けて進む力。

もう一つは、豊かな表現力を磨き積極的に他とかかわることで自らを成長させることができる力。

そして、長く本校に語り継がれてきた「操山ファミリー」という言葉を、互いに切磋琢磨しつつ力を合わせて、自らのものにしてほしいと期待を申し上げたところです。

新しい年度が始まり、生徒たちは、学習に部活動に張り切って取り組んでくれています。ただ、新しい環境の中で、成績のことや人間関係の悩みなど、避けて通れない課題も生じることがあると思います。

互いに協力し、時には意見を戦わせ様々な場面に応じて判断し、選択し、決定しながら、そのよりよい解決を目指すことも、生徒たちの成長にとって大切な手続きの一つだと考えます。

保護者の皆様におかれましては、今後とも、どうか、本校の教育方針にご理解を賜り、生徒たちの成長のために、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成21年度末の人事異動により、岡山県立津山高等学校から転任してまいりました。

岡山操山高等学校は、昭和50年度の新採用以来、14年間お世話になった『第二の母校』とも言うべき存在であり、光栄これに過ぎるものはないと感激しております。

今後は、本校教育の充実のため、微力を尽くす所存であります。どうか、よろしくお願ひいたします。

さて、4月8日に平成22年度の岡山操山高等学校入学式を挙行いたしました。

当日は、ご多忙の中、ご来賓のPTA役員の方々をはじめ、多数の保護者の皆様のご臨席を賜り、厳粛かつ盛大な素晴らしい入学式となりました。

引き続き、中学校、高等学校の新入生・在校生がすべて一堂に会して始業式と対面式が行われ、第1学期が無事にスタートしました。

式場の生徒たちの様子は、張りつめた緊張感が漂う中、実に静粛であり、今がどのような場であり、どのように行動することが求められているのか、一人一人が明確にわかまえており、集団としての高い意識が伝わってきて、深い感動を覚えました。



目次

- ・校長挨拶
- ・今年度の人事異動
- ・1学期の主な行事
- ・総務課から
ホームページの紹介

岡山県立岡山操山高等学校

〒703-8573

岡山市中区浜412番地

電話 086(272)1241

FAX 086(272)1721

Email

sozan01@pref.okayama.jp

ホームページ

<http://www.sozan.okayama-c.ed.jp/>

今年度の人事異動

転出・退職者			転入者		
校長	國友 道一	(定年退職)	校長	廣本 勝裕	(津山高校から)
教頭	樋上 潔	(市立玉島高校校長へ)	教頭	影山 勝己	(津山東高校から)
国語	香山 真一	(林野高校教頭へ)	国語	池田 愛	(採用)
	高月 佳壽子	(市立玉島高校へ)		深見 みゆき	(玉野高校から)
	山上 美和	(精忠高校へ)	地歴公民	高取 完治	(県教委から)
地歴公民	田中 完三	(総社高校へ)	数学	岡本 修明	(西大寺高校から)
数学	片山 幸広	(定年退職・非常勤講師に)		越村 文	(備前緑陽高校から)
	川崎 佳子	(岡山操山中学校へ)	理科	蟻正 聖登	(岡山城東高校から)
	景山 勝夫	(退職)		大西 卓嗣	(倉敷青陵高校から)
理科	高見 壽	(定年退職)	英語	調子 和紀	(倉敷南高校から)
	柴田 利明	(総社高校へ)		金光 守	(西大寺高校から)
英語	丸山 浩	(県教委へ)		仲矢 圭佑	(採用)
	岡田 和則	(総社南高校へ)		藤原 智	(採用)
	河井 隆志	(三重県立上野高校へ)	保体	那須 正志	(採用)
	山部 知子	(備前緑陽高校へ)	書道	長谷川 啓子	(採用)
保体	忠政 和美	(退職)	養護	岡本 加奈子	(倉敷翔南高校から)
書道	中池 克直	(退職)			
養護	坂田 つたえ	(定年退職)			

「和して流れず」 について

学校通信は、学校と家庭との連携を一層深め、学校と家庭が両輪となって生徒の成長を援助する目的で発行しています。本校の考えや保護者へのお知らせ、お願い等を発信していきます。他の配付物とあわせてお読みいただき、学校の理解に役立てていただければ幸いです。

タイトルの「和して流れず」は、本校の前身の一つである明治33年開校の「岡山県高等女学校(略称・一女)」で語られていた精神です。本校前庭には全国初の女性国会議員の一人近藤鶴代女史の手による石碑もあります。この精神は「社会の一員としての自覚を深め、互いに認め、ともに高め合う、豊かな人間性を持った生徒を育成する」という本校の教育目標にもつながるものです。保護者のみなさまとも協しながら、よりよい教育活動をしていきたいと考えています。

耐震化改造工事について

本校の第2棟(HR棟)は、地震による倒壊を防ぐ「耐震化改造工事」の対象となり、平成22年度は第2棟東12教室、平成23年度は第2棟西15教室が改造されます。

本格的な工事の開始は7月中旬以降になる予定です。通信制の教室や職員室、中学校の教室、特別教室を使用して12教室を割り当てます。その結果授業に使う特別教室の数が相対的に減るため、すべて

の教室を共同で使用することになります。そこで本年度は下足箱を兼ねた鍵付きの個人ロッカーを設置し、学用品や貴重品の管理を各自でできるようにしています。実際に教室を移動するのは本年度の7月中旬以降になると思います。いろいろとお子様には我慢してもらう場面が出てくると思いますが、お子様の安全を確保するためにご理解をいただきたいと存じます。

ホームページをご覧ください

学校行事の様子や部活動の実績など、岡山操山高校の今をホームページでお伝えしています。昨年度リニューアルしまして、さらに充実したものになっています。即時性を大切にして更新していますので、岡山操山高校の新しい情報を得ることができます。学校からの配付物とあわせてご覧ください。

URL: <http://www.sozan.okayama-c.ed.jp/>

